

第2期
香美市まち・ひと・しごと
創生総合戦略
(アクションプラン)

(素案)



令和2年3月

香美市

目次

基本目標1 地域に根差した産業を振興し、安定した雇用を創出する

(ア) 地域産業の競争力強化

① 高知県産業振興計画の推進

ユズの総合的な産地強化対策	1
地場産業（土佐打刃物、フラフ）の振興、鍛冶屋創生塾の運営支	1
香美市ブランドの確立・特産品づくり（6次産業化の取組み）	1
木材住宅支援事業	1

② 観光振興策の実施

体験型観光の推進	1
広域観光の取組の推進、龍河洞エリア活性化事業	1

③ 創業支援

空き店舗等利活用助成事業	1
光通信を活用したIT企業の誘致	1
中心商店街の活性化	1
土佐まるごとビジネスアカデミーの受講の推	1

(イ) 人材還流・人材育成・雇用対策

① 農業の担い手の確保・育成

新規就農研修支援事業	2
農業次世代型人材投資事業	2
園芸用ハウス整備事業	2

② 林業の担い手の確保・育成

林業後継者育成支援事業	2
-------------	---

③ 企業立地の推進

企業立地促進奨励金事業	2
-------------	---

基本目標2 香美市への新しいひとの流れをつくる

(ア) 移住の促進

① 「香美市を知って・好きになってもらう」「移住に関心を持ってもらう」取組

子育て世帯新築住宅取得支援事業	3
移住ポータルサイトの作成	3
移住交流体験ツアー委託	3
お試し移住体験住宅	3

② 移住の受け皿体制の整備充実

NPO法人「移住定住交流業務委託」	3
香美市移住定住推進協議	3

③住まいの確保		
空き家バンク登録事業	3
空き家改修費等補助金	3
(イ)関係人口の促進		
①交流機会の創出		
学生地域活動支援事業	3
基本目標3 子どもを産み育てやすい環境をつくり、若い世代の結婚・妊娠・出産の希望をかなえる		
(ア)結婚		
①出会い・結婚支援事業		
交流・婚活推進事業	4
(イ)妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援		
①母子保健事業		
母子保健事業	4
(ウ)子ども・子育て支援の充実		
①待機児童の解消		
低年齢児保育促進事業	4
②子育て世帯への経済的支援の充実		
児童医療費助成事業	4
多子世帯保育料等軽減事業	4
子育て世帯住宅リフォーム支援事業	5
高等学校等通学費補助金	5
③地域子育て支援拠点の充実		
地域子育て支援拠点事業	5
一時預かり事業	5
ファミリー・サポート・センター事業	5
放課後児童クラブ	5
放課後子ども教室	5
放課後学習支援	5
(エ)教育環境の充実		
①確かな学力の推進・きめ細やかな教育の推進		
学力向上推進事業	6
国際バカロレア教育推進事業	6
教育支援センターの充実	6

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(ア) 中山間地域等における「小さな拠点」（多世代交流・多機能型）の形成

① 集落活動センターの普及・取組支援

集落活動センター事業 7

② あったかふれあいセンターの機能強化

あったかふれあいセンター事業 7

③ 市営バスの利便性向上

市営バス運行委託事業 7

(イ) 地域防災力の向上

① 地域の担い手の育成・避難路の安全確保

自主防災組織育成事業、防災士資格取得補助事業 7

老朽家屋除却事業 7

(ウ) 協働による定住の推進

① 地域ぐるみの教育の推進

よってたかって地域が育てる教育推進事業 8

ふるさと教育推進事業 8

② 高知工科大学との連携

小中高等学校と大学の連携の推進 8

高知工科大学地域活動奨励事業 8

高知工科大学インターンシップ受入事業 8

1. 地域に根差した産業を振興し、安定した雇用を創出する

(ア) 地域産業の競争力強化

具体的な事業		事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	
			目標値 (R6)	基準値
高知県産業振興計画の推進	ユズの総合的な産地強化対策	青果量日本一のユズ産地維持のため、各種の補助事業を活用して、総合的な支援を行う。	ユズ販売額 5億円	4.9億円 (H27~R1年度の平均年間販売高)
	地場産業（土佐打刃物、フラフ）の振興、鍛冶屋創生塾の運営支援	その魅力のPRや販路拡大に取り組む。土佐打刃物については、技術や文化の継承を図るため、後継者の育成を最大の目的とし鍛冶屋創生塾の運営を支援していく。	地場産業後継者数 5年間で8件	—
	香美市ブランドの確立・特産品づくり（6次産業化の取組）	当市内の特性を活かした特産品等の企画開発、既存商品の改良、販路拡大の効果的な取組みに対し支援していく。 (香美市特産品振興補助金)	対象特産品数 5年間で5件	採択数9件 (H20年度からの10年間)
	木材住宅支援事業	林業・製材業・建設業等、市内木材関連産業の活性化を図る。	市産材を活用した木材住宅件数 5年間で90件	21件 (H30年度)
観光振興策の実施	体験型観光の推進	龍河洞を中心とした体験型観光を推進していく。	体験型観光入込客数 R1年 126,690人→ R6年 134,000人	126,690人 (R1)
	広域観光の取組の推進、龍河洞エリア活性化事業	南国市、香南市、香美市の広域観光協議会である物部川DMO協議会を中心とし、関連施設等と連携し、広域観光に取り組んでいく。 龍河洞エリア活性化協議会を中心とし、龍河洞エリアの活性化に取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> 主要4施設観光入込客数 R1年 291,829人→ R6年 300,000人 外国人観光入込客数 R1年 5,074人→ R6年 6,000人 	<ul style="list-style-type: none"> 主要4施設観光入込客数 291,829人 (R1) 外国人観光入込客数 5,074人 (R1)
創業支援	空き店舗等利活用助成事業	商工会を通じ、市内にある空き店舗等を利用して開業する者に対して、内装経費・備品購入・賃借料等の支援を行うことで、商業の活性化を促すとともに、雇用の創出を図る。	新規開業（中心商店街含む） 5年間で20件	5年間で16件 (H26~H30年度)
	光通信を活用したIT企業の誘致	企業誘致に適した物件調査に力を入れるとともに、関係機関と連絡体制を強化し、IT企業の誘致を推進していく。	IT企業の誘致件数 5年間で3件	5年間で0件 (H26~H30年度)
	中心商店街の活性化	えびす商店街を中心とした商店街の活性化に向けて、官民一体となって取り組んでいく。	えびす商店街における 通行量 各年度 前年度比3%増	—
	土佐まるごとビジネスアカデミー（土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業等）の受講の推進	ビジネスの知識等を習得できる研修の受講の推進、特に食品産業に競争優位性をもたらす研究開発人材の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 土佐MBA受講者 年間15人 土佐FBC受講者 5年間で5人（年間1人） 	<ul style="list-style-type: none"> 土佐MBA受講者 年間13人 (R1年度) 土佐FBC受講者 0人 (R1年度)

(イ)人材還流・人材育成・雇用対策

具体的な事業		事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	
			目標値 (R6)	基準値
農業の担い手の確保・育成	新規就農研修支援事業	就農を希望する者が、就農開始前に研修機関等で研修を受ける場合に、研修生や受入機関等に対し支援を行う。	独立自営による新規就農者 5年間で35人（親元就農を含む）	34人（H27～R1年度の合計）
	農業次世代型人材投資事業	次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農直後の経営確立を支援する資金を交付し、新規就農者の支援を行う。		
	園芸用ハウス整備事業	農業協同組合が行うレンタルハウス整備や中古ハウスの再活用による流動化、災害によるハウスの復旧等に対し、支援する。		
の林業確保の担い手	林業後継者育成支援事業	市内の林業事業体と一体となり林業後継者を育成し、さらに定着させ、森林整備を促進し、効率化を進める。	新規林業従事者 5年間で25人	2人（H30年度）
企業立地の推進	企業立地促進奨励金事業	香美市内で操業する企業に対し、操業奨励金、雇用奨励金等を補助することで、香美市での企業立地の推進及び雇用機会の拡大を図る。	テクノパーク工業団地の立地企業新規雇用者数 5年間で15人	0人（R1年度）

2. 香美市への新しい人の流れをつくる

(ア) 移住の促進

具体的な事業		事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	
			目標値 (R6)	基準値
「香美市を知って・好きになってもらう」「移住に関心を持ってもらう」取組	子育て世帯新築住宅取得支援事業	次世代を担う子育て世帯が定住するため、子育てしやすい環境の整備を推進する	転入超過数 20歳未満 年間70人以上、30歳代 年間27人以上	20歳未満 123人、30歳代 29人 (H30年度)
	移住ポータルサイトの作成	移住希望者に向けて、効果的かつ分かりやすく情報提供するためのポータルサイトを作成する	移住定住相談件数 年間120件	139件 (H30年度)
	移住交流体験ツアー委託	移住をコンセプトにした香美市を体験してもらうツアーを開催する	市外からの移住者数 5年間で115組	33組 (H30年度)
	お試し移住体験住宅	実際に暮らすことで、移住のミスマッチを防ぎ、香美市の魅力を感じてもらおう体験住宅を運営する	お試し移住体験住宅利用者 年間10組	11組 (H30年度)
移住の受け皿体制の整備充実	NPO法人「移住定住交流業務委託」	NPO法人と連携したきめ細やかな相談対応とアフターフォローを行うため、委託契約を行う	・移住専門相談員の設置 3人 ・HP「いなかみライフ」へのアクセス数 年間30万件以上	・相談員 3人 (H30年度) ・HPアクセス数 372,339件 (H30年度)
	香美市移住定住推進協議会	官民協働による移住に関する事業の推進		
住まいの確保	空き家バンク登録事業	移住者を受け入れるため住宅として空き家を登録し、紹介やマッチングを行う	空き家バンク新規登録件数 年間10件	8件 (H30年度)
	空き家改修費等補助金	空き家バンクに登録された物件に対する改修工事と、残留物の撤去に要する費用の補助	空き家改修費補助利用件数 年間3件	0件 (H30年度)

(イ) 関係人口の創出・拡大

具体的な事業		事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	
			目標値 (R6)	基準値
交流機会の創出	学生地域活動支援事業	学生と市民との協働及び人的資源の活用による地域の活性化を図る	学生の活動人数 年間94人以上	6団体188人 (H30年度)

3. 子どもを産み育てやすい環境をつくり、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(ア)結婚

具体的な事業		事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	
			目標値 (R6)	基準値
出会い・結婚支援事業	交流・婚活推進事業	若い世代の結婚への希望をかなえるため、移住・定住交流事業に関連して、高知県や他団体と連携して交流事業を行い、出会いの場づくりや結婚への支援を行う。	・出会いの場作りのイベント参加者のうち、香美市在住者の割合 30%	-
			・イベント参加者の満足度 80%	

(イ)妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

具体的な事業		事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	
			目標値 (R6)	基準値
母子保健事業	母子保健事業	母子保健事業を充実し、子育て世代包括支援センターを中心に安心して妊娠・出産できる環境を整えるとともに、子育て支援部門との連携、協働の強化により、妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援体制を整備する。	・妊娠週数11週以下の妊娠届出率 全国水準	・妊娠週数11週以内の妊娠届出率 95.6%、全国93% (H29年度)
			・1歳6か月児健康診査の受診率 全国水準	・1歳6か月児健康診査の受診率 94.6%、全国96.2%(H29年度)
			・3歳児健康診査の受診率 全国水準	・3歳児健康診査の受診率 97.2%、全国95.2% (H29年度)
			・妊娠・出産について満足している者の割合 90%	・妊娠・出産について満足している者の割合 89.0% (H30年度)

(ウ)子ども・子育て支援の充実

具体的な事業		事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	
			目標値 (R6)	基準値
待機児童の解消	低年齢児保育促進事業	3歳未満児の保育のための保育士をあらかじめ加配し、年度途中の乳児の受入れを促進する。	・加配保育士数 1人	・加配保育士数 1人 (H30年度)
			・加配による途中受入児童数 0歳の場合3人 1歳または2歳の場合6人	・途中受入0歳児 3人 (H30年度)
子育て世帯への経済的支援	児童医療費助成事業	小学校1年生から中学校3年生までの児童を対象に、保険診療分の医療費の自己負担金を全額助成する。	対象範囲の維持 (協議中)	小学校1年生から中学校3年生 (R1年度)
	多子世帯保育料等軽減事業	18歳までの子どもが3人以上いる家庭に対し、第3子以降3歳未満児の保育料を軽減する。	・保育料等軽減対象児童数 年間60人 ・保育料等軽減額及び補助額総額 年間 11,700,000円	・対象児童数 51人 (H30年度) ・14,640,800円 (H30年度)

具体的な事業		事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	
			目標値 (R6)	基準値
子育て世帯への経済的支援の充実	子育て世帯住宅リフォーム支援事業	子育てを行う世帯の経済的負担の軽減及び世代間の子育て支援の促進を図る。	子育て世帯住宅リフォーム補助金利用件数 年間10件	—
	高等学校等通学費補助金	高校生のバス通学にかかる経済的負担の軽減、定住促進のため、保護者に対し通学費の助成を行うとともに、民営バスの利用促進を図る。	補助金利用人数 年間20人	18人 (R1年度)
地域子育て支援拠点の充実	地域子育て支援拠点事業	主に就園前の親子の交流や育児相談、情報提供等を実施し、育児不安の軽減を図る。	・地域子育て支援拠点事業・一時預かり事業の認知度 85%	・認知度78.4% (H30年度)
	一時預かり事業	自宅保育中の保護者の病気・パート就労、リフレッシュなどに伴う一時的な保育を行い、育児負担の軽減を図る。	・就学前児童の子育て支援 (地域子育て支援拠点事業・一時預かり事業) に対する利用者満足度 80%	・認知度73.1% (H30年度)
	ファミリー・サポート・センター事業	地域において、子育ての相互援助活動の会員組織を構築し、会員間の相互援助活動により、育児支援を行う。	依頼会員と援助会員の合計会員数 70人以上	・利用者満足度は未把握
	放課後児童クラブ	・各児童クラブに認定資格を保有する指導員を配置し、安定した支援状況を確認する。 ・全7学校区で専用施設を整備する。	・各児童クラブにおける認定資格保有者2名以上の配置の維持 ・全ての学校区 (7校) で専用施設を整備する	・香長5人、くじら2人、めだか3人、たけのこ4人、うぐいす4人、かたじ1人、大宮小3人、もんべえ2人 (R1年度) ・7学校区のうち3校 (R1年度)
	放課後子ども教室	放課後における子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進する。地域コーディネーターを中心に体験教室等を実施。	全ての学校区 (7校) で一体型サービスを実施する	7学校区で0校 (R1年度)
	放課後学習支援	放課後や長期休業期間に、児童生徒へのきめ細かな学習支援を行う。	高知県学力定着状況調査 (小4, 5, 中1, 2年生対象) で平均正答率に満たない児童生徒の割合及び評定1の児童を減少させる。	平均正答率に満たない児童生徒の割合及び評定1の児童の割合が、小4, 5年生 = 24.8%、中1, 2年生 = 40.6% (H30年度)

(工)教育環境の充実

具体的な事業		事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	
			目標値 (R6)	基準値
確かな学力の推進 ・ きめ細やかな教育の推進	学力向上推進事業	「探究」を核とした授業づくりを展開し、これから求められる確かな学力を身につける教育の推進を図る。	「全国学力・学習状況調査」で、小中学生とともに、国、算・数において、全国平均値より5P以上となる	小：国+6.2P、算+3.4P (R1年度) 中：国-2.8P、数-0.8P (R1年度)
	国際バカロレア教育推進事業	時代の変化に対応した次世代の市民が必要とする教育の実現に向け、国際バカロレア教育を導入し、教育の質の向上を目指す。(対象：大宮小、香北中)	「全国学力・学習状況調査」で、国、算・数とともに全国平均値より大宮小：10P以上 香北中：7P以上	大宮小：国+9.2P、算+9.4P (R1年度) 香北中：国-1.8P、数-2.2P (R1年度)
	教育支援センターの充実	総合教育支援センター設置の研究推進とともに不登校対策に取り組む。 ・魅力ある学校づくり調査研究事業	小中学校とも不登校の出現率が県平均値以下となる。	小：市1.26%、県0.81%、国0.7% (H30年度) 中：市7.77%、県5.11%、国3.65% (H30年度)

4. 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

(ア) 中山間地域等における「小さな拠点」（多世代交流・多機能型）の形成

具体的な事業		事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	
			目標値（R6）	基準値
ター の 組 み 支 援 取	集落活動センター事業	<ul style="list-style-type: none"> 物部地区での集落活動センターの設立 美良布地区・平山地区集落活動センターへの支援 	<ul style="list-style-type: none"> 3箇所目の集落活動センター設立 既存（2箇所）の集落活動センターの継続 	-
	あ っ た か ふ れ あ い セ ン タ ー 事 業	地域住民の誰もが気軽に集い交流し、お互いに見守り支え合うことができる拠点の機能を強化し、地域での支え合いを推進する。	あったかふれあいセンター地域サロン（土佐山田圏域、香北・物部圏域）利用者数年間5,000人	4,775人（H30年度）
市 営 バ ス の 利 便 性 向 上	市営バス運行委託事業	今後、人口減少による市営バス利用者数減少が予想されるが、道路交通網の変化や、公共施設等の設立、民間バス路線の見直し等に伴い、地域住民のニーズを調査し、市営バスの路線や運行形態の見直しを行うことにより、利用者の利便性向上を図る。	市営バス利用者数年間32,000人	32,069人（H30年度）

(イ) 地域防災力の向上

具体的な事業		事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	
			目標値（R6）	基準値
地 域 の 路 担 の 手 安 全 の 確 保 成 ・ 避 難	自主防災組織育成事業、防災士資格取得補助事業	地域防災力（共助）の向上のため、人材・組織の育成や、災害のリスクを軽減する安全対策を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織率100% 防災士資格取得者5年間で150人以上 	<ul style="list-style-type: none"> 178組織（R1年度） 累計180人（R1まで）
	老朽家屋除却事業		避難路に面した老朽家屋除却5年間で75件	15件（R1年度）

(ウ)協働による定住の推進

具体的な事業		事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	
			目標値 (R6)	基準値
地域ぐるみの教育の推進	よってたかって地域が育てる教育推進事業	学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制の充実を図る。 ・コミュニティ・スクール推進事業 ・香美市地域学校協働本部事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と協働した学校・地域づくりができる(保護者認知度70%) ・地域学校協働本部の延べ活動日数 250日/校 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者認知度 35% (H30年度) ・延べ活動日数 210日/校 (R1年度)
	ふるさと教育推進事業	香美市の豊かな教育資源(ひと・自然・もの・こと)を活かしたふるさと教育に取り組む。 ・土曜教育支援事業 ・よってたかって学園都市推進事業	「私は自分の住んでいる地域が好きである」強い肯定群 小学生92%、中学生78%	小学生89%、中学生75% (R1年度)
高知工科大学との連携	小中高等学校と大学の連携の推進	「高知工科大学のあるまち」として、市内小中学校と山田高等学校と大学が連携し、大学の施設や「知」を活用した教育に取り組む。 ・土曜教育支援事業 ・長期宿泊体験活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・高知工科大学で活動したことがある中学3年生 100% ・高知工科大学への香美市出身者の進学人数 年間30人 	<ul style="list-style-type: none"> ・「高知工科大に行ったことがある」中学3年生 84% (H30年度) ・高知工科大学への香美市出身の進学人数 7人 (R1年度)
	高知工科大学地域活動奨励事業	高知工科大学と連携して地域振興を図るため、高知工科大学が取り組む地域に貢献する事業を推進する。	地域力の強化や維持に関する事業数 年間6事業を維持	年間平均6事業 (H27~H30)
	高知工科大学インターンシップ受入事業	高知工科大学と連携し、「インターシップ」等の履修生を実習生として受け入れ、卒業生が香美市に留まるように事業を推進する。	実習生の受入 年間3名以上	3名 (R1年度)